

ASIAN AND MIDDLE EASTERN STUDIES TRIPOS Part IA

Japanese Studies

---

Friday 1 June 2012 13.30 – 16.30

---

**J.2 JAPANESE GRAMMAR AND TRANSLATION**

Answer *both* sections and *all* questions

Write your number *not* your name on the cover sheet of *each* Answer Book.

**STATIONERY REQUIREMENTS**

*20 Page Answer Book x 1*

*Rough Work Pad*

**You may not start to read the questions  
printed on the subsequent pages of this  
question paper until instructed that you may  
do so by the Invigilator.**

## SECTION A

1 Write out the following sentences filling in the space between the brackets with the correct particles or words, which may consist of more than one *kana*. If no particle is needed, mark with an X. Then add your own translations of the sentences into English: [25 marks]

- (a) ジョンさん[ ]先月[ ]引っ越した[ ]アパート[ ]まで[ ]は遠く[ ]富士山[ ]見える。
- (b) 私[ ]かぜ[ ]ひく[ ]必ず頭[ ]痛くなって高い熱[ ]出します。
- (c) 林教授[ ]よく授業中[ ]学生[ ]声[ ]出してテキスト[ ]読ませたり、英語[ ]文[ ]作らせたりする。
- (d) 長谷川さん[ ]藤本さん[ ]英語[ ]話す[ ]上手ではない[ ]、書く[ ]藤本さん[ ]上手だ。
- (e) マリーさん[ ]フランス語[ ]手紙[ ]書く[ ]手伝ってくれたので、今度何[ ]プレゼント[ ]しよう[ ]思う。
- (f) 私[ ]ヘレン[ ]本当のこと[ ]言っていないということ[ ]すぐ[ ]気[ ]ついた[ ]、だれ[ ]何[ ]言わなかったので、だまっていた。
- (g) あした[ ]鎌倉へ行って、お寺[ ]見て歩きながら源氏[ ]鎌倉幕府[ ]開いたころ[ ]こと[ ]説明したい[ ]思います。
- (h) 昨日六時半ごろ[ ]私[ ]公園[ ]散歩している[ ]、三歳[ ]四歳ぐらい[ ]小さな女の子[ ]ひとり[ ]歩いていた[ ]、ちょっと心配[ ]なった。

2 Create full Japanese sentences from the following elements in questions (a) to (g) below. You may use the verbs in any tense or aspect you wish and you may also add further elements. Then translate into English the sentences you have produced:  
[25 marks]

Example:

[食べる]、[すし]、[みる]

去年東京へ行った時、おすしを食べてみたがおいしくなかった。

When I went to Tokyo last year, I tasted some sushi but I didn't like it.

- (a) [～うちに]、[来る]、[実君]
- (b) [～しまう]、[泣く]、[弟]
- (c) [～ことがある]、[子供のころ]、[もらう]
- (d) [～ならない]、[宿題]、[木下先生]
- (e) [～ようになる]、[少しずつ]、[分かる]
- (f) [～みたい]、[好き]、[ジョン]
- (g) [～ながら]、[あぶない]、[ケイタイ]

(TURN OVER)

3 Imagine you are Yamada. Using your own words as far as possible write a diary entry in **Japanese** about your conversation with your colleague. [25 marks]

「山田さん、あさっての十二日のことなんですけど」

「ブリティッシュ・エンジニアリングのハミルトン副社長がいらっしゃる日ですね。」

「そうです。実は、その日、京都支店に行かなければならなくなりました。それで私の代わりに副社長を成田空港まで迎えに行ってもらえると助かるんですが」

「それはとても急な話ですね。今、ちょっと忙しいんですが」

「もし、無理なら、他の人に頼んでみますけど」

「十二日の午前中までに報告書を出すことになっているんです」

「副社長が到着するのは午後三時四十分ですけど」

「ああ、それなら、お迎えに行けそうです」

「それじゃ、よろしくお願いします」

「ハミルトンさんからの手紙や報告書は何度も読んだことがあります、お顔は全く知らないんです」

「ここに二、三年前にとった写真があります」

「思ったよりも若い方ですね」

「若く見えますが六十歳ぐらいだと思いますよ」

「そうですか。空港で迎えた後はどうしたらいいんですか」

「直接ホテルへお連れしてください」

「お泊りになるのはどのホテルですか」

「上野公園の近くの上野プラザホテルです」

「分かりました」

「それから副社長は東京の近くで何か日本的なことを経験したいそうなんです。何かいいアイデアがありますか」

「上野公園は桜がきれいでも有名ですけど、今はまだ三月初めでちょっと早過ぎますね。残念ですが、ちょっと考えさせてください」

「よろしくお願いします」

## SECTION B

## 4 Translate into English: [25 marks]

日本人はお金持ちになってぜいたくになったと言われている。そう言われるようになったのはここ十年ほどのことである。日本人はお金で買えないものは何もないと信じているとさえ言われている。だれもがよりぜいたくなもの、より新しいもの、より高いものを買おうとしているようである。

しかし、ある雑誌に出ていた「本当のぜいたくとは何ですか」という質問には「ぼくにとってのぜいたくとは何もしない時間である」と答えた、イギリスに関するエッセイで知られる林望さんみたいな人もいた。彼は、自分にとって、休暇は何かをすとか旅行するとかということではなくて、何もしないでゆっくり別荘で過ごすことだ、と話している。

もし私にとってのぜいたくとは何かと聞かれたら、たぶん、すばらしい人との出会い、あるいは友情と答えるかもしれない。もちろんそれを恋愛と言い変えてもいいかもしれない。私の場合も、ぜいたくというものはお金で買えるものとはちがうということを強調すると思う。何もしない時間というの、これも豊かさをつくるためのひとつの前提だと思う。何もしないといっても、もちろん本当に何もしてないわけではなくて、自然を眺めているとか、何かを考えているとか、あるいは友達と話をしていても具体的に何かを相談するわけではなくて、なんとなく人生について話をしている、なんとなくいっしょに時を過ごす、そういう時間のことをいうのだろう。

|              |                    |
|--------------|--------------------|
| ぜいたく         | luxury             |
| さえ           | even               |
| 林望 (はやし のぞむ) |                    |
| 休暇           | holiday            |
| 別荘           | cottage            |
| 豊かさ          | sense of wellbeing |
| 前提           | basis              |
| 眺める = 見る     |                    |
| 具体的          | specific           |

TOSHIKO MARKS, 'Yutori no kuni Igrisu to narikin no kuni Nihon' (adapted), 1993, pp.153 – 154.

END OF PAPER